

山野向陽ノ地ニ多シ、春宿根ヨリ數葉叢生ス、形唐種ノ防風葉ニ似テ光滑ナラズ、莖葉トモニ白毛多シ、三四月一尺許ノ莖ヲ出ス、ソノ巔ニ細小葉莖ヲ抱キ並ビ生ジ、上ニ數枝ヲ分ツ、枝頂ゴトニ一花倒垂シテ鈴鐸ノ如シ、長サ八九分、濶サ六分許、後開テ日ニ向テ仰グ、六瓣ニシテ紫赤色外ニ白毛多シ、中ニ一撮ノ紫絲アリ、黃蕊コレヲ圍ム、花衰テ瓣蕊俱ニ脫ス、中ノ紫絲漸ク長大二寸許、圓ニ簇リテ四ニ垂ル、ソノ絲甚ダ細ク、淡紫色ニ變ズ、後又白色ニ變ジ、風ニ隨テ飄リ飛去ル、絲根ニ小子アリ、落ル處ニ苗ヲ生ズ、

〔延喜式三十七〕諸國進年料雜藥

相模國卅二種略○中 白頭公一斤、安房國十八種略○中 白頭公三斤略○下

〔出雲風土記仁多郡〕凡諸山野所在草木、白頭公、

〔散木弃詞集九〕ものへまいりける道に、草のふみつけられて有けるをみてよめる、

道のべにふみまだかる、翁草かる人もなき歎きをぞする、

〔梅花無盡藏七言絕句〕白頭翁草本草或云白頭翁、又號胡王使者、又號奈何草、端午

此草深衣司馬公、無端編入芽方中、白頭不改有餘習、元祐老成霜一叢新度本草叙云、草而不用者、白頭翁、石而不用者、大陽玄清、

秋自一莖先暗加、無媒徑路隱君家、白頭尙有負時色、合伴元嘉以後花、

〔武江產物志藥草〕鼠山ノ產 白頭翁ちごはな 仙川村ニモ

〔佐渡志五物產〕白頭翁 方言セカイソウ 山野ノ間ニ稀ニアリ

猫草

〔大和本草九雜草〕猫草 國俗又曰白頭翁、本草山草上載、白頭翁粗似而不同、山野ニアリ、葉ハ艾ニ似

タリ、莖葉堅硬ナリ、花ハ紫ニシテ其形ツルベノ如ク、鈴ヲ俯セタルガ如シ、内紫也、外ニ白毛アリ、

花三月ニ開ク、其葉ヲ食ヘバエグシ、南星ヲ食タルガ如シ、毒草ナルベシ、花散テ其アト蒲公英ノ

毬ノ形ノ如シ、